

## 信頼性試験対応規格

### 環境・化学薬品

試験項目	対応規格名
アイスウォーター衝撃試験 (氷水衝撃試験)	ISO 16750-4 / JASO D 014-4 他

# 試験名: アイスウォーター衝撃試験(氷水衝撃試験)

(対応規格)ISO 16750-4、JASO D 014-4

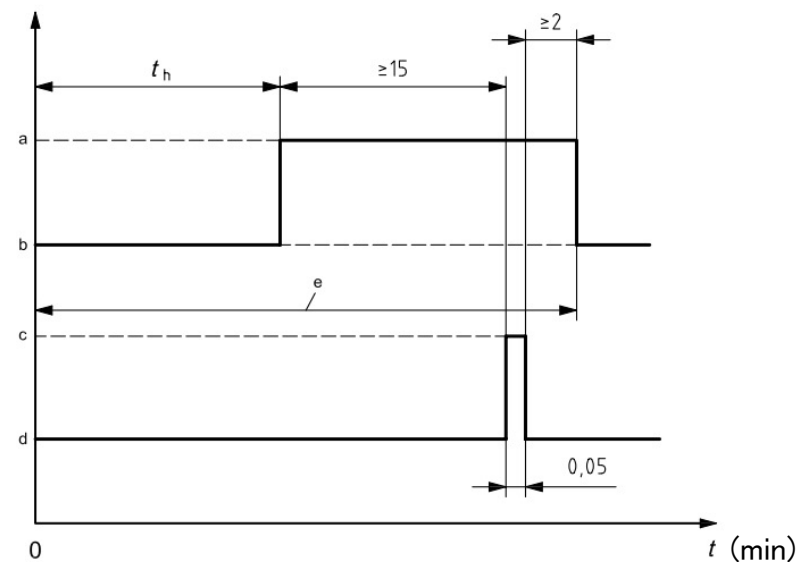
目的: 冬にぬれた道路を走行するときの、高温システム/部品への跳ね水による熱衝撃を再現するものです。  
放水試験と水没試験の2種類があります。

## 1) 放水試験

加熱したサンプルに、アリゾナダストを3%含んだ脱イオン水を放水する試験です。サンプルを恒温槽にて、既定の保持時間で $T_{max}$ に加熱した後、サンプルが被水する可能性がある箇所に3sの放水を行います。これを100サイクル繰り返します。(右図. 試験サイクル)

## 2) 水没試験

加熱したサンプルを、脱イオン水に水没させる試験です。試験設備へサンプルを接続し、サンプルを規定の保持時間 $T_{max}$ の高温槽で作動させた後、サンプルを冷水タンクの中に10mm以上の深さまで5min沈めます。これを10サイクル繰り返します。



- $t_h$ . 保持時間
- a. 動作モード3.2: 代表的な作動及び制御を行う
- b. 動作モード1.2: 自動車での使用と同じようにワイヤリングハーネスに接続する
- c. 放水
- d. 停止
- e. 1サイクル

図. 放水試験サイクル